

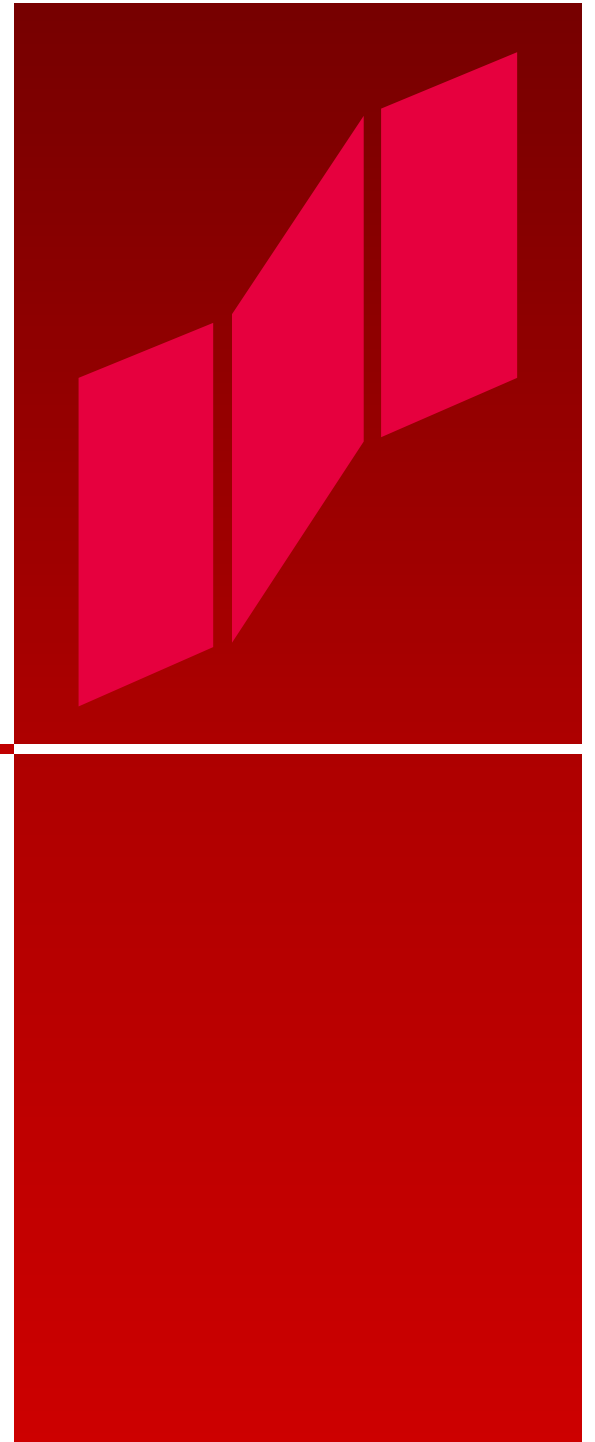
2017年3月期 第2四半期決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2016年10月24日

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

 SMBC日興証券



		[参考資料]	
2017年3月期 第2四半期決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	18
純営業収益・商品販売の状況	3	四半期損益推移 (SMBC日興証券)	19
業績の四半期推移	4	営業指標-1	20
株式委託手数料	5	営業指標-2	21
投信募集・代行手数料等	6	営業指標-3	22
トレーディング損益	7		
引受関連手数料 (株式・債券)	8		
M&A	9		
三井住友銀行との連携について	10		
販売費・一般管理費	11		
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	12		
預り資産残高・資産導入額	13		
海外拠点の業績推移	14		
海外ネットワーク	15		
トピックス	16		

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2016年10月24日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

※ 連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。

2017年3月期 第2四半期決算サマリー

2017年3月期
上期

- 純営業収益1,491億円(前年同期比-8%) 経常利益315億円(同-22%) 当期純利益(*1) 220億円(同-25%)
上期は不透明な相場環境が続いたことで、株式委託手数料や投信募集手数料が減少し、前年同期比では減収減益
- 株式委託売買代金は12.4兆円(同-2%)
商品販売額合計は5.0兆円(同+4%)
投信販売額は1.1兆円(同-21%)、外債販売額1.2兆円(同-8%)、国内債販売額2.3兆円(同+40%)
- 引受手数料は197億円(同-0%)
2016年度リーグテーブルは、グローバル株式・ブックランナー2位(*2)、円債総合・主幹事3位(*3)、M&A公表案件取引金額ベース10位、案件数ベース3位(*4)
- 販売費・一般管理費は1,195億円(同-4%)
- 2016年9月末の総資産9.5兆円、純資産5,070億円、親会社への配当実施により純資産は減少
自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は329%と安定した財務基盤を維持

2017年3月期
第2四半期

- 純営業収益754億円(前四半期比+2%) 経常利益157億円(同+0%) 当期純利益(*1) 112億円(同+5%)
引受手数料および投信募集手数料の増加等により増収増益
- 商品販売額合計は2兆7,017億円(同+17%)、国内債販売額は1兆3,578億円(同+33%)となり、四半期ベースでは過去最高を更新

経営成績 (単位: 億円)	17/3期		前四半期比 増減率	16/3期 上期	17/3期 上期	前年同期比 増減率
	1Q	2Q				
営業収益	810	820	+1%	1,751	1,630	-7%
純営業収益	736	754	+2%	1,623	1,491	-8%
販売費・一般管理費	588	607	+3%	1,243	1,195	-4%
経常利益	157	157	+0%	405	315	-22%
税金等調整前当期純利益	152	160	+5%	442	313	-29%
当期純利益(*1)	107	112	+5%	294	220	-25%
財政状態	2016年 3月末	2016年 9月末	前期末比 増減額	2015年 9月末	2016年 9月末	前年同期末比 増減額
総資産	10.4兆円	9.5兆円	-0.8兆円	10.0兆円	9.5兆円	-0.4兆円
純資産	6,978億円	5,070億円	-1,907億円	6,945億円	5,070億円	-1,875億円

(*1) 当社株主に帰属する当期純利益

(*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

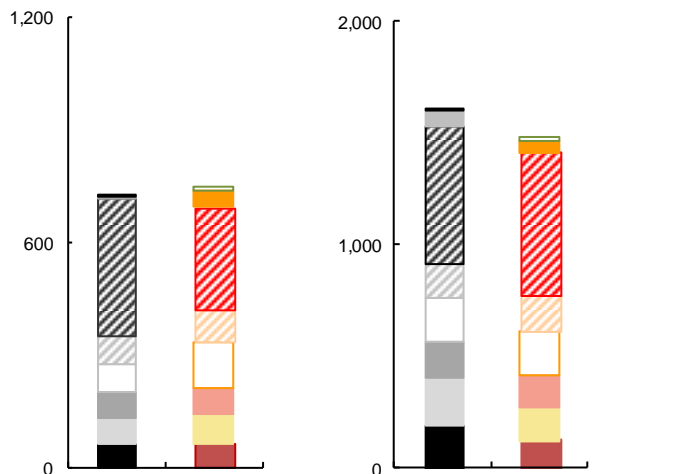
(*4) 出所: THOMSON REUTERS 日本企業関連M&A公表案件

純営業収益・商品販売の状況

- ◇ 第2四半期の純営業収益は754億円(前四半期比+2%)、商品販売額合計は2兆7,017億円(同+17%)
トレーディング損益は減少したが、引受手数料および投信募集手数料等が増加し、増収に寄与
- ◇ 上期の純営業収益は1,491億円(前年同期比-8%)、商品販売額合計は5兆35億円(同+4%)
低金利環境の中、調達・運用の両面のニーズから債券発行が増加し、国内債販売額は2兆3,796億円(同+40%)と大幅増加

純営業収益 推移(億円)

■ 株式委託 ■ 投信募集 ■ 投信代行等 □ 引受
■ 受手その他 ■ トレーディング損益 ■ 金融収支 □ ネット売上(*1)



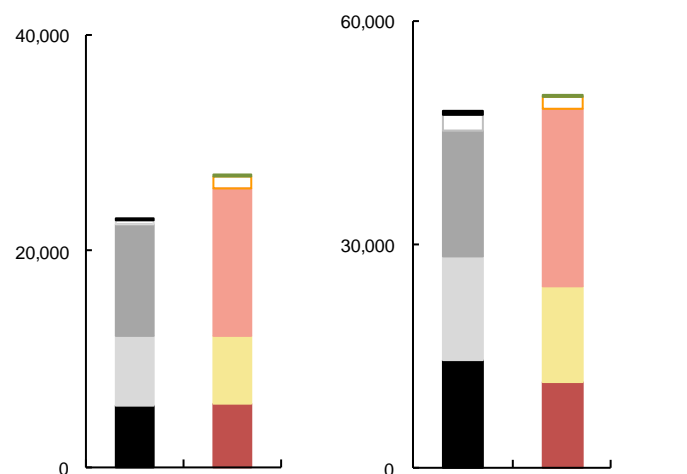
	17/3期			16/3期		
	1Q	2Q	前四半期比	上期	上期	前年同期比
株式委託	66	63	-5%	196	129	-34%
投信募集	67	81	+21%	214	148	-31%
投信代行等	70	70	+0%	158	141	-11%
引受	75	121	+62%	197	197	-0%
受手その他	73	88	+20%	154	162	+5%
トレーディング損益	367	272	-26%	621	640	+3%
金融収支	7	44	6.0倍	64	51	-21%
ネット売上(*1)	8	11	+32%	14	19	+42%
合計	736	754	+2%	1,623	1,491	-8%

(*1)売上高-売上原価

商品販売額 推移(億円)

■ 投信 ■ 外債(*2) ■ 国内債 ■ 株式募集 ■ 年金・保険

【SMBC日興証券単体】

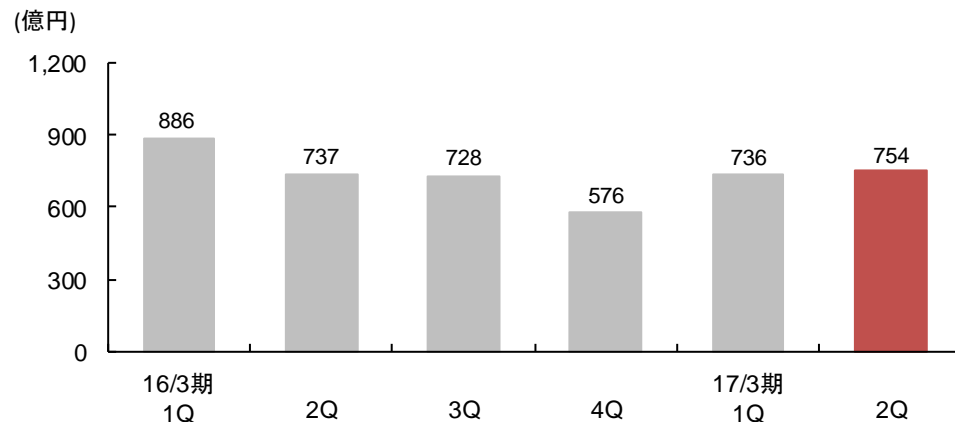


	17/3期			16/3期		
	1Q	2Q	前四半期比	上期	上期	前年同期比
投信	5,619	5,832	+4%	14,426	11,451	-21%
外債(*2)	6,570	6,388	-3%	14,064	12,958	-8%
国内債	10,218	13,578	+33%	16,939	23,796	+40%
(うち個人向け国債)	(1,320)	(1,844)	(+40%)	(2,813)	(3,164)	(+12%)
株式募集	511	1,175	2.3倍	2,154	1,686	-22%
年金・保険	100	43	-57%	380	143	-62%
合計	23,017	27,017	+17%	47,962	50,035	+4%

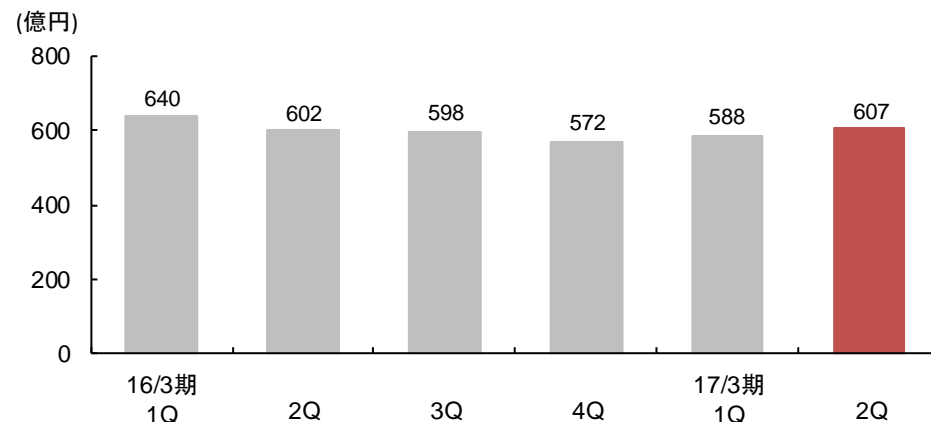
(*2)外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む

業績の四半期推移

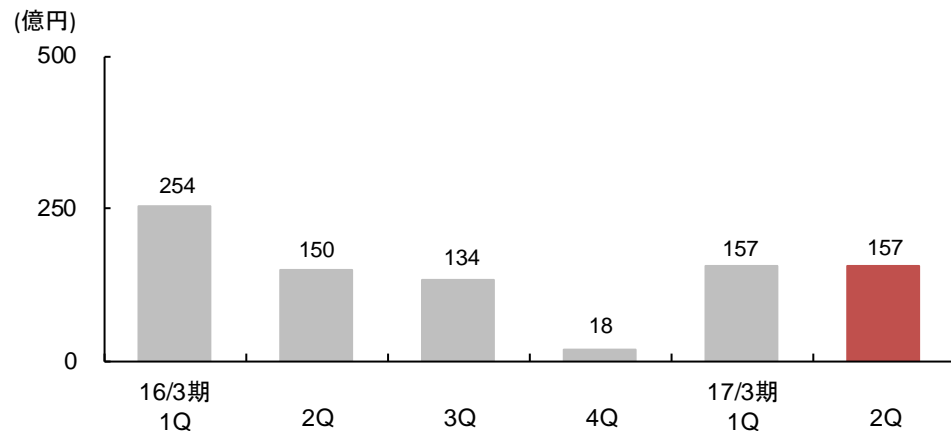
純営業収益



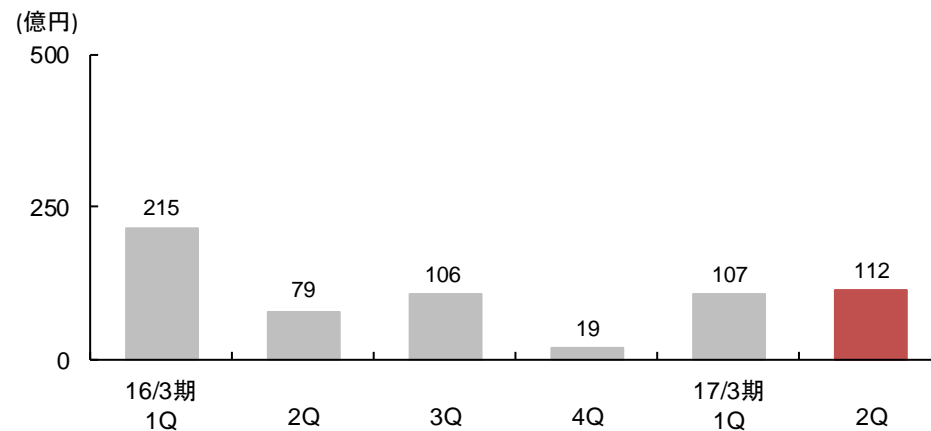
販売費・一般管理費



経常利益



当期純利益(*)

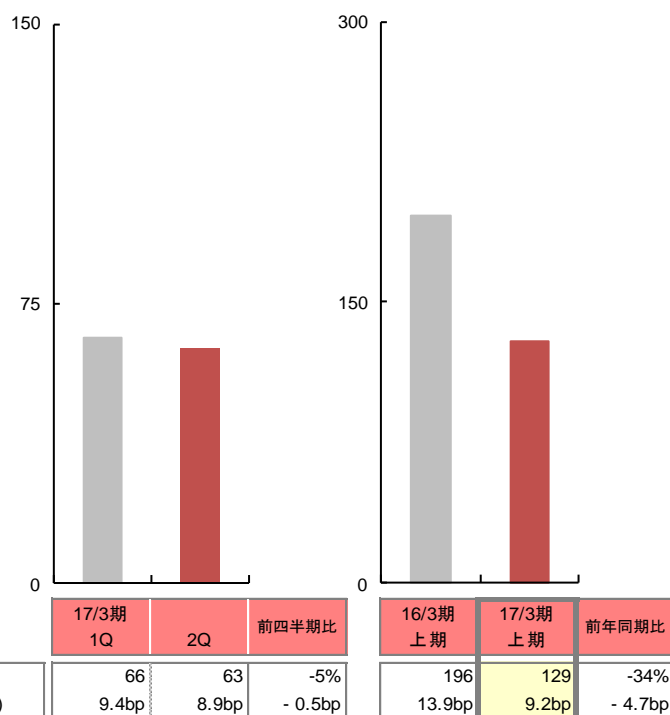


(*) 当社株主に帰属する当期純利益

株式委託手数料

- ◇ 第2四半期の株式委託売買代金は6兆2,264億円(前四半期比+1%)、株式委託手数料は63億円(同-5%)
第1四半期に続き、市場全体の取引金額が減少する中、東証シェアと個人委託シェアの拡大は継続
- ◇ 上期の株式委託売買代金は12兆4,050億円(前年同期比-2%)、株式委託手数料は129億円(同-34%)

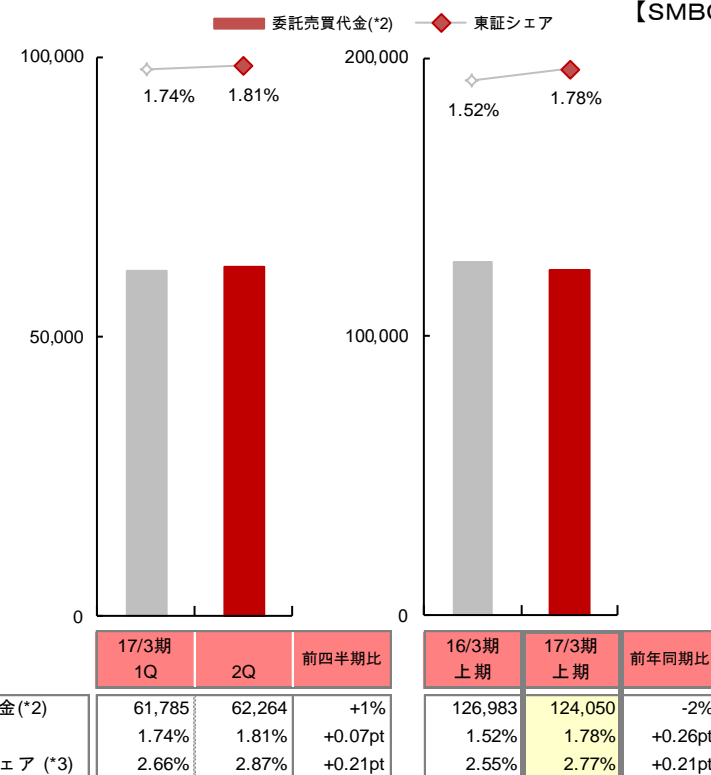
株式委託手数料 推移(億円)



(*1) 調整後株式委託手数料÷株式委託売買代金(集計対象:現物及び信用取引)

株式委託売買代金・東証シェア 推移(億円、%)

【SMBC日興証券単体】



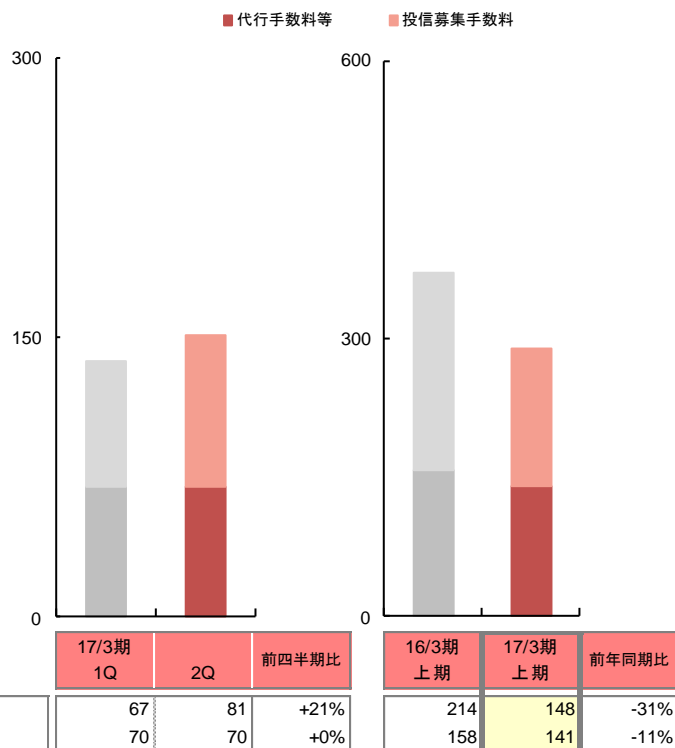
(*2) 集計対象は全市場

(*3) 集計対象は東証・名証の一部・二部等

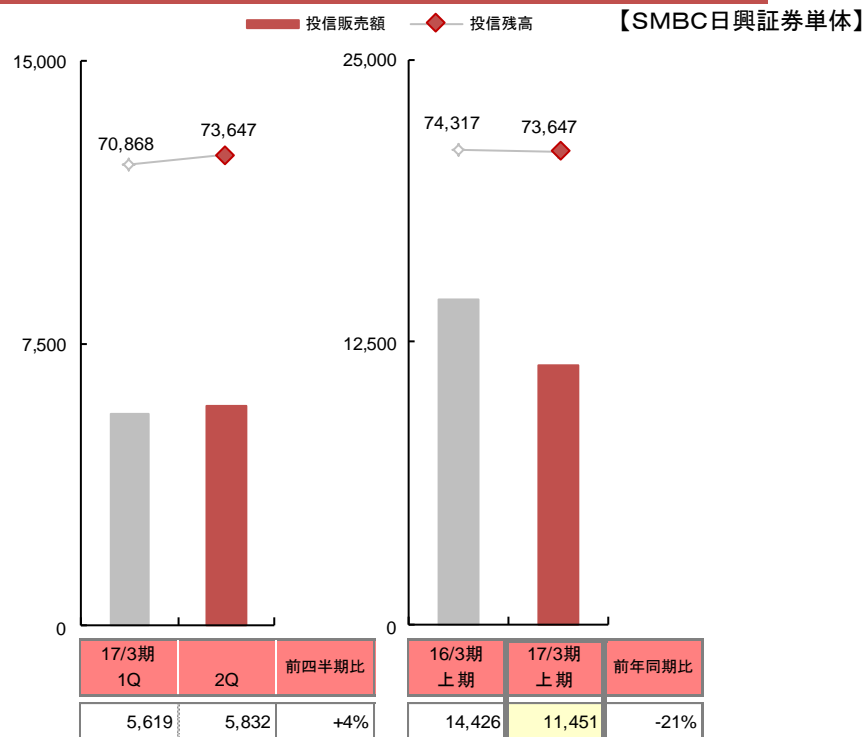
投信募集・代行手数料等

- ◇ 第2四半期の投信販売額は5,832億円(前四半期比+4%)、投信募集手数料は81億円(同+21%)
AI関連ファンドをはじめとした株式投信を中心に販売額が増加
- ◇ 上期の投信販売額は1兆1,451億円(前年同期比-21%)、投信募集手数料は148億円(同-31%)

投信募集手数料/代行手数料等 推移(億円)



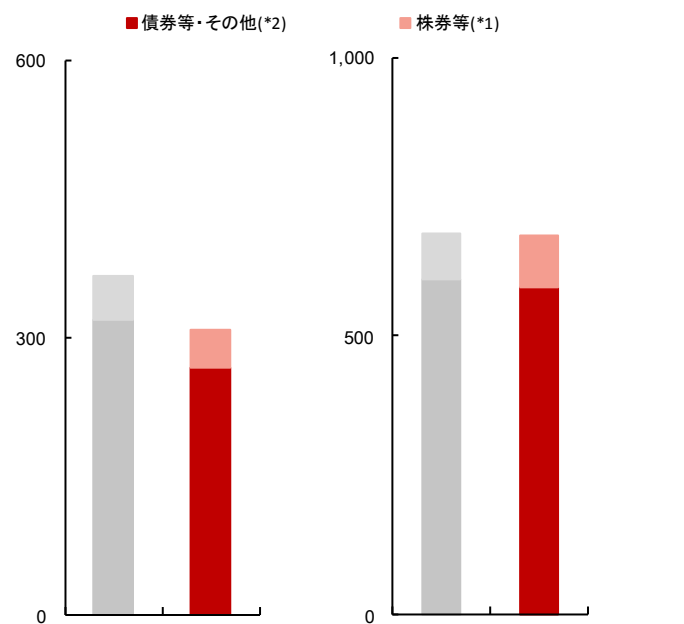
投信販売額/投信残高 推移(億円)



トレーディング損益

- ◇ 第2四半期のトレーディング損益(金融収支調整後)は311億円(前四半期比-16%)、外債販売額は6,388億円(同-3%)
債券トレーディングが好調であった前四半期と比べると、収益は減少
- ◇ 上期のトレーディング損益(金融収支調整後)は680億円(前年同期比-1%)

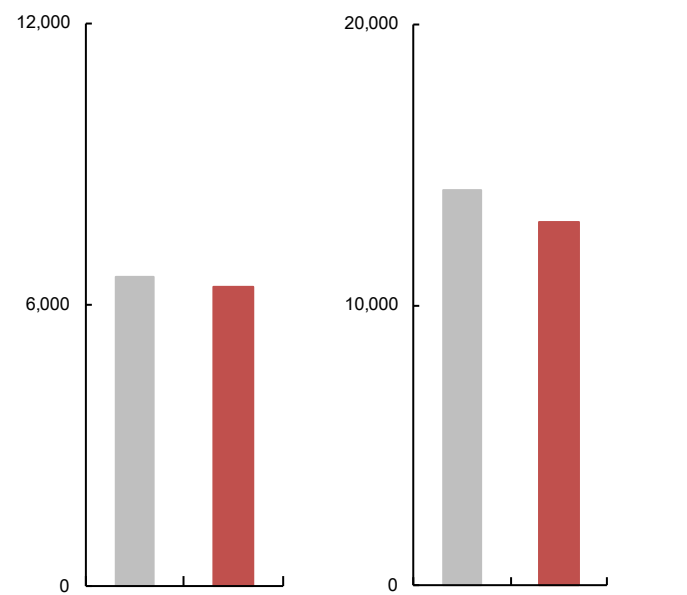
トレーディング損益(金融収支調整後) 推移(億円)



	17/3期			16/3期		
	1Q	2Q	前四半期比	上期	上期	前年同期比
株券等(*1)	48	42	-13%	85	90	+6%
(うち配当等)	(5)	(40)	7.3倍	(47)	(46)	(-3%)
債券等・その他(*2)	320	268	-16%	600	589	-2%
(うち利子)	(-3)	(-2)	(-)	(16)	(-6)	(-)
合計(*3)	369	311	-16%	685	680	-1%

外債販売額 推移(億円)

【SMBC日興証券単体】



17/3期			16/3期		
1Q	2Q	前四半期比	上期	上期	前年同期比
6,570	6,388	-3%	14,064	12,958	-8%

・配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示

(*1) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンジングによる配当含む)

(*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子(純額)を集計範囲に含む

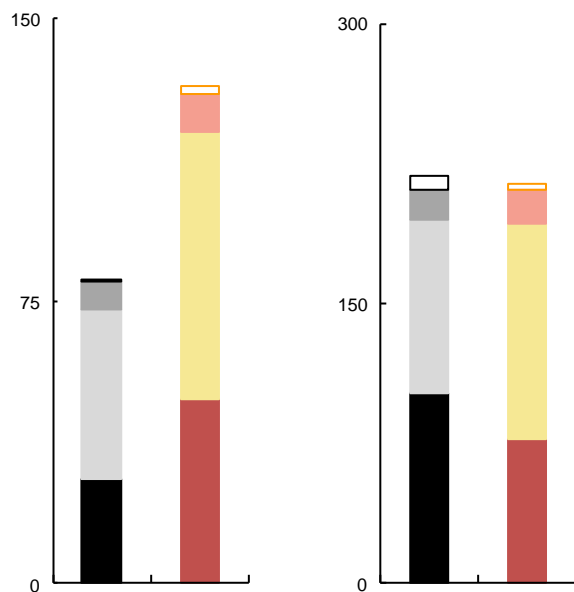
(*3) ファンディングコストは集計範囲に含まない

引受関連手数料 (株式・債券)

- ◇ 第2四半期の引受手数料は121億円(前四半期比+62%)、株式・債券ともに着実に案件を積み上げ、収益は高水準
- ◇ 2016年度 グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナーは2位(シェア19.3%)、円債総合-主幹事は3位(シェア18.2%)

引受関連手数料(株式・債券) 推移(億円)

■ 株式 ■ 債券 ■ 募集手数料(株式・債券) ■ その他引受関連手数料(*)



	17/3期 1Q	2Q	前四半期比	16/3期 上期	17/3期 上期	前年同期比
引受手数料	75	121	+62%	197	197	-0%
株式	28	49	+71%	102	77	-24%
債券	45	71	+56%	93	116	+24%
募集手数料(株式・債券)	7	10	+33%	16	18	+9%
その他引受関連手数料(*)	1	2	2.2倍	8	3	-60%

(*) 流動化アレンジメントにかかわる収益を含む

グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー 2016年度

順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	野村	3,266	25.5%
2	SMBC日興	2,462	19.3%
3	みずほ	1,998	15.6%
4	三菱UFJモルガン・スタンレー	1,987	15.5%
5	大和	1,179	9.2%

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成
(海外拠点を含む)

円債総合-主幹事 2016年度

【SMBC日興証券単体】			
順位	主幹事	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	みずほ	26,562	23.6%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー	21,633	19.2%
3	SMBC日興	20,476	18.2%
4	野村	17,348	15.4%
5	大和	15,118	13.4%

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成
(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

◇ 2016年度 M&Aリーグテーブルは56件を獲得し、取引金額ベースで10位(占有率14.7%)、案件数ベースで3位(同3.5%)

ファイナンシャル・アドバイザー 取引金額ベース 2016年度

順位	アドバイザー	取引金額 (億円)	占有率 (%)
1	みずほフィナンシャルグループ	52,038	50.8%
2	The Raine Group LLC	41,361	40.3%
3	ゴールドマン・サックス	37,853	36.9%
4	Lazard	33,426	32.6%
10	三井住友フィナンシャルグループ	15,110	14.7%

ファイナンシャル・アドバイザー 案件数ベース 2016年度

順位	アドバイザー	案件数	占有率 (%)
1	みずほフィナンシャルグループ	108	6.7%
2	野村	60	3.7%
3	三井住友フィナンシャルグループ	56	3.5%
4	大和証券グループ本社	35	2.2%
5	ブルータス・コンサルティング	26	1.6%

主なM&Aの公表案件 2016年度

レンゴー
/ Tri-Wall Holdings Limited
(CITIC Capital Partners Japan Limited)
CITIC Capital Partnersは、管理・運営するファンドを通じて保有するTri-Wall Holdings Limitedの67.1%の株式全てをレンゴーへ譲渡
(当社はCITIC Capital Partners Japan Limitedのアドバイザー)

Irvin Acquisition LLC(Piston Group)
/ Irvin Automotive Products(タカタ)
タカタは、米国子会社Irvin Automotive Productsを、Piston Groupが設立したIrvin Acquisition LLCへ売却することを公表
(当社とMoelis & Companyはタカタの協働アドバイザー)

三菱商事
/ ローソン
三菱商事は、持分法適用関連会社であるローソンを連結子会社化することを目的として、公開買付けを行うことを決定
(当社は三菱商事のアドバイザー及び公開買付代理人)

パナソニック
/ Open Synergy GmbH
パナソニックは、独Open Synergyの全株式を取得し子会社化
(当社はパナソニックのアドバイザー)

デンソー
/ 富士通テン(富士通)
富士通は、デンソー及びトヨタ自動車と出資する富士通テンの株式41%相当を、デンソーに譲渡することにつき基本合意
(当社は富士通のアドバイザー)

大成ラミック
/ Malaysia Packaging Industry Berhad
(東洋製罐グループホールディングス)
東洋製罐グループホールディングスは、グループで株式54.95%を保有するマレーシア上場会社Malaysia Packaging Industryの株式を、大成ラミックに譲渡
(当社は東洋製罐グループHDのアドバイザー)

三井住友銀行との連携について

【SMBC日興証券単体】

◇ 個人のお客様の口座数、法人のお客様の紹介件数はともに拡大しており、銀証連携は引き続き順調に進展

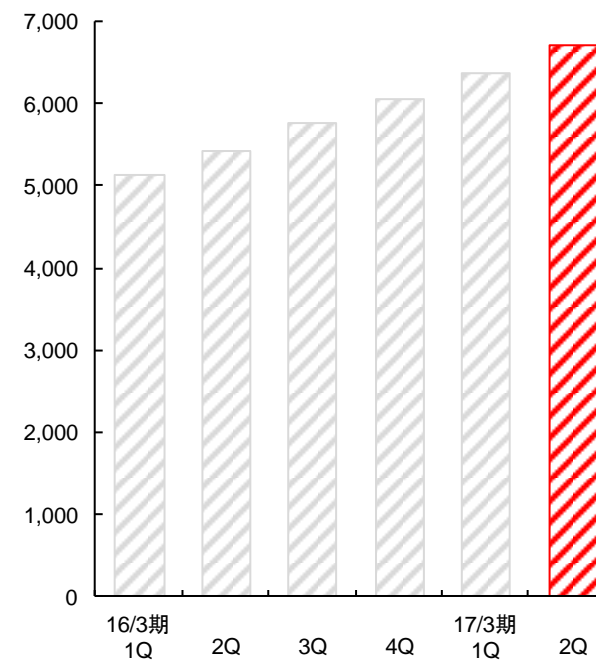
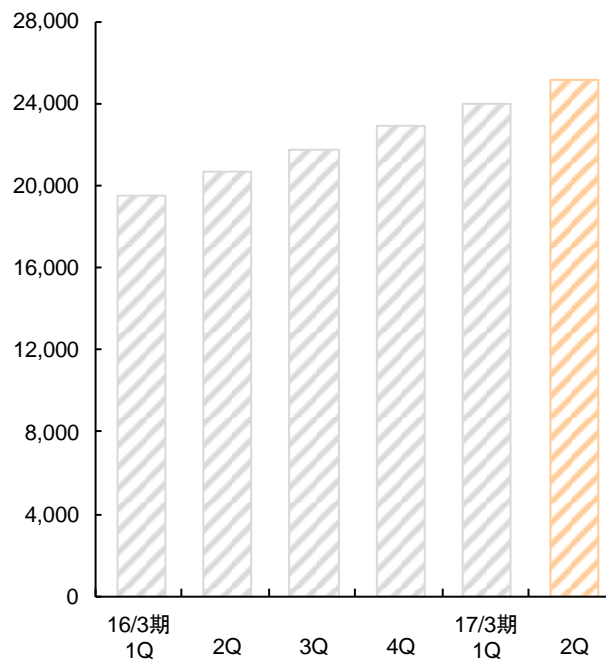
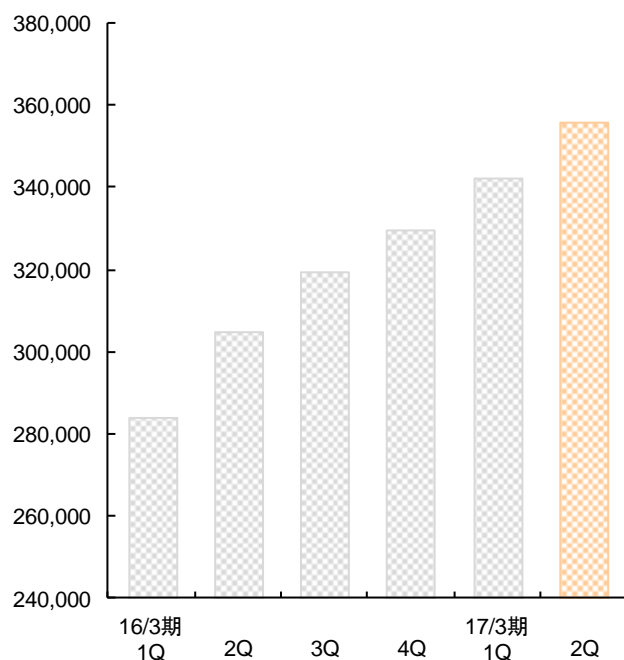
運用業務（お客様紹介業務・金融商品仲介業務^(*)）

投資銀行業務（お客様紹介業務）

個人のお客様（口座数）^(*)

法人のお客様（累積件数）^(*)

法人のお客様（累積件数）



注) 口座数の実績は各四半期末の口座数を表示。件数の実績は運用業務、投資銀行業務ともに累積の数値を表示

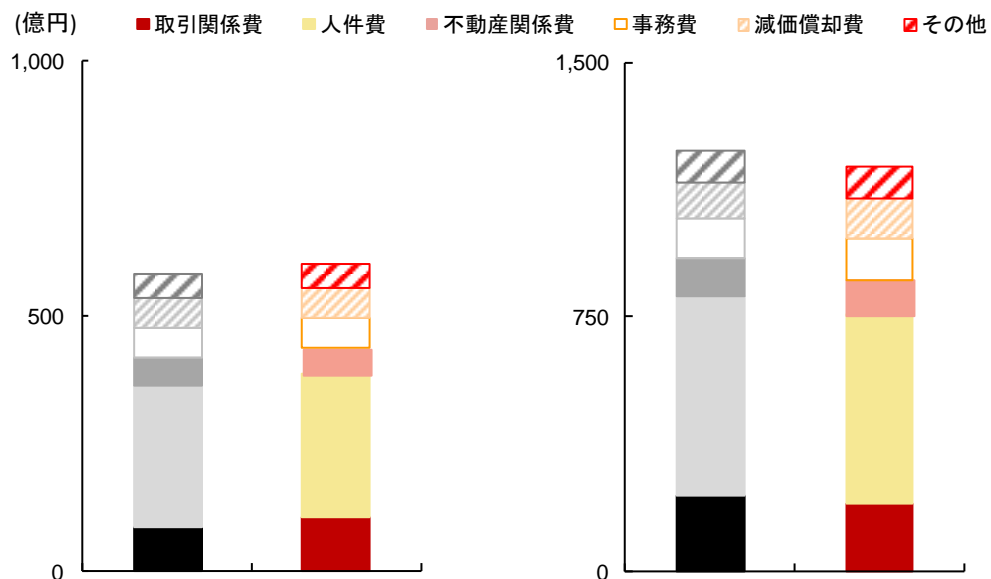
(*) 三井住友銀行(以下、「SMBC」)の金融商品仲介業務:当社が金融商品仲介業務を委託したSMBCがお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う

(*) SMBCから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMBCの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の各四半期末時点の口座数

(*) SMBCから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMBCの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

販売費・一般管理費

- ◇ 第2四半期の販売費・一般管理費は607億円(前四半期比+3%)
- ◇ 上期の販売費・一般管理費は1,195億円(前年同期比-4%)、業績に連動する取引関係費や人件費等が減少



(単位: 億円)

	17/3期 1Q	2Q	前四半期比	16/3期 上期	17/3期 上期	前年同期比
取引関係費	88	105	+20%	224	194	-13%
人件費	277	281	+2%	589	559	-5%
不動産関係費	54	51	-5%	112	105	-6%
事務費	60	60	-0%	120	121	+0%
減価償却費	58	59	+3%	104	118	+13%
その他	49	47	-5%	91	96	+5%
販売費・一般管理費	588	607	+3%	1,243	1,195	-4%
販売費・一般管理費/純営業収益	80%	81%	+1pt	77%	80%	+4pt

連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況

◇ 2016年9月末に親会社へ2,000億円の配当実施、同時に劣後ローンを調達し、ビジネスの拡大に十分に対応できる自己資本規制比率の水準を維持

【SMBC日興証券単体】

(単位：億円)	16年3月末	16年9月末	前期末比増減
流動資産	102,203	93,348	-8,855
トレーディング商品	36,731	34,400	-2,331
有価証券担保貸付金	50,074	45,366	-4,708
その他	15,398	13,581	-1,816
固定資産	2,587	2,475	-112
有形固定資産	267	262	-4
無形固定資産	846	828	-17
投資等その他の資産	1,474	1,384	-90
資産合計	104,791	95,823	-8,968
流動負債	91,473	83,445	-8,027
トレーディング商品	24,645	22,036	-2,609
有価証券担保借入金	51,048	43,203	-7,845
短期借入金/CP	10,547	8,380	-2,167
その他	5,231	9,825	+4,594
固定負債・準備金	6,340	7,307	+967
負債合計	97,813	90,753	-7,060
純資産	6,978	5,070	-1,907
負債・純資産合計	104,791	95,823	-8,968

(単位：億円)	16年3月末	16年9月末	前期末比増減
基本的項目	6,566	4,748	-1,818
補完的項目	149	1,139	+989
控除資産	1,623	1,597	-26
固定化されていない自己資本	5,092	4,290	-802
リスク相当額	1,286	1,305	+19
市場リスク	438	516	+77
取引先リスク	229	208	-21
基礎的リスク	617	580	-36
自己資本規制比率	396%	329%	-67pt

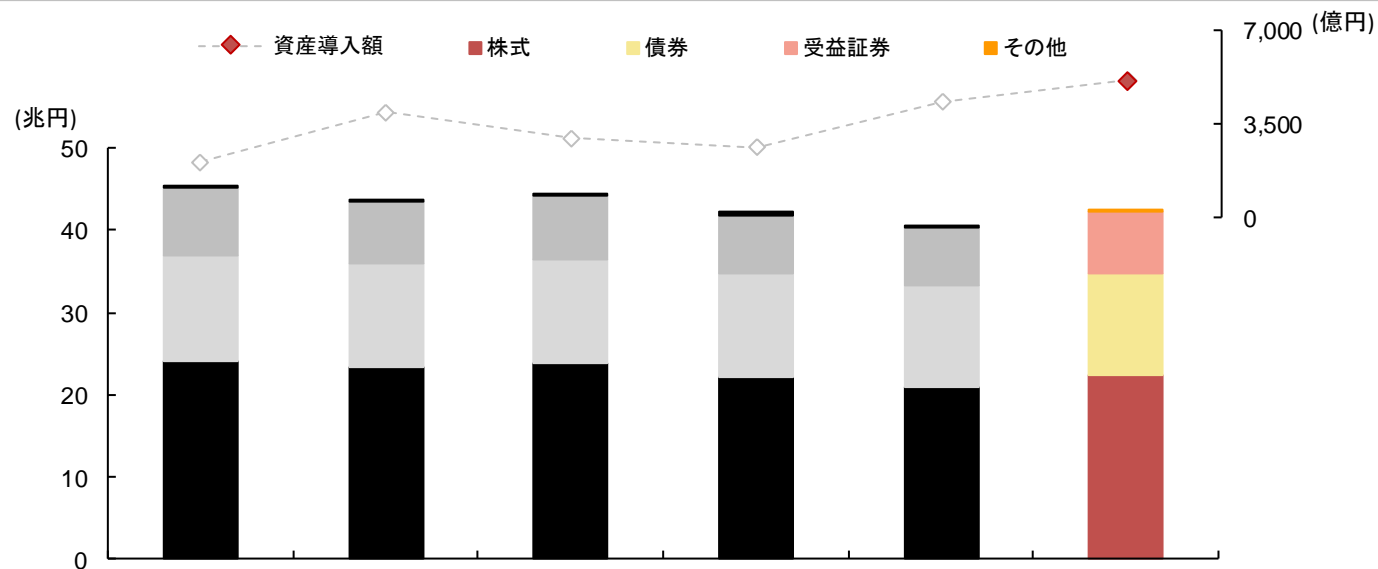
長期格付 (2016年10月24日現在) 【SMBC日興証券単体】

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1 [安定的]	A [安定的]	AA- [安定的]	AA [安定的]

預り資産残高・資産導入額

【SMBC日興証券単体】

- ◇ 2016年9月末の預り資産残高は42.6兆円(前四半期比+5%)
- ◇ 第2四半期の営業部門の資産導入額は5,131億円、継続的な資産導入への取組み強化により5,000億円を超える高い水準



(単位:兆円)

	16/3期 6月末	9月末	12月末	3月末	17/3期 6月末	9月末
株式	24.1	23.3	23.9	22.1	21.0	22.5
債券	12.9	12.8	12.7	12.6	12.3	12.4
受益証券	8.1	7.4	7.7	7.2	7.1	7.4
その他	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4
預り資産残高	45.4	43.8	44.6	42.2	40.7	42.6

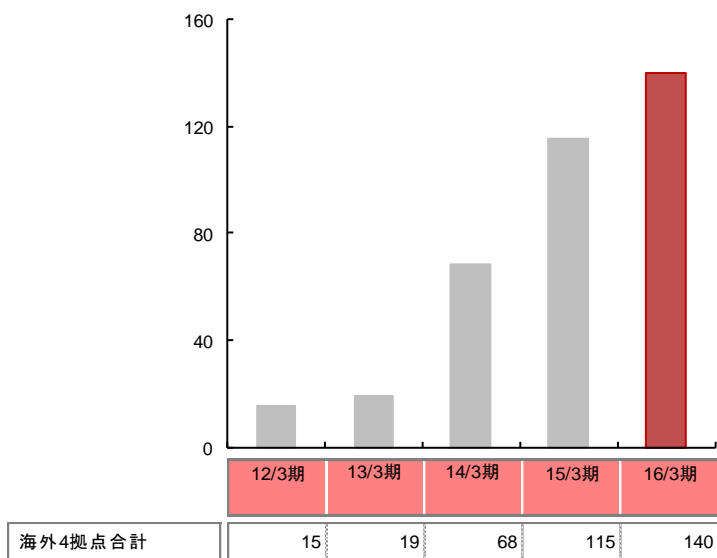
(単位:億円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資産導入額(営業部門)	2,069	3,930	2,962	2,649	4,342	5,131
入金入庫	13,802	13,764	13,169	13,924	14,093	13,478
出金出庫	-11,733	-9,833	-10,207	-11,275	-9,750	-8,347

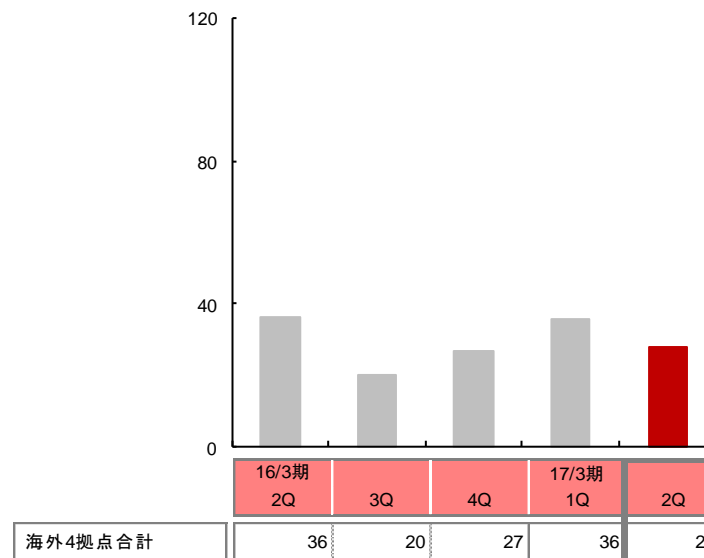
海外拠点の業績推移

- ◇ 第2四半期の収支(内部管理ベース)は28億円(前四半期比-22%)
- ◇ 国内外の体制整備や海外拠点における銀証連携等の進捗により、収支(内部管理ベース)は堅調に推移

収支(内部管理ベース) 年度推移 (億円)



収支(内部管理ベース) 四半期推移 (億円)



- 海外4拠点合計は、下記の合計値
 - ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の収支
 - ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%)のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社(議決権比率:当社20.00%、三井住友銀行77.65%、SMBC Financial Services, Inc.(三井住友銀行子会社)2.35%)の収支

海外ネットワーク

英国SMBC日興キャピタル・マーケット

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ
- スワップ関連業務

SMBC日興ルクセンブルク銀行

- ファンド・カस्टディ
- ファンド・アドミニストレーション

SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー

- ファンド管理

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ(サンフランシスコ支店)

- 日本株・米国株ブローカレッジ
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ

SMBC日興セキュリティーズ(香港)

- 日本株・香港株・債券ブローカレッジ
- 債券引受案件のための発行体カバレッジ
- M&Aアドバイザー
- 中華圏進出コンサルティング
- IRアレンジ

SMBC日興投資コンサルティング(上海)

- M&Aアドバイザー関連業務

SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ

- 日本株・米国株ブローカレッジ
- 債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- ストラクチャード・ファイナンス
- M&Aアドバイザー
- IRアレンジ

日興証券インドネシア

- インドネシア株ブローカレッジ
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザー
- インドネシア進出コンサルティング
- アセットマネジメント業務

SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)

- 日本株ブローカレッジ
- M&Aアドバイザー
- プライベートウェルス業務
- IRアレンジ

英国SMBC日興キャピタル・マーケット(シドニー)

- 債券引受案件のための発行体カバレッジ



- 海外拠点
- 提携先

提携先(アジア)

KB投資証券(本社:ソウル)

- M&Aアドバイザー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携

ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)

- M&Aアドバイザー業務及び債券引受販売を中心とした業務提携

ベトロベトナム証券(本社:ハノイ)

- 海外進出支援等を中心とした業務提携

ファトラ証券(本社:バンコク)

- M&Aアドバイザー及びDCM/ECM業務における提携

コタック・マヒンドラ・グループ(本社:ムンバイ)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

提携先(米州)

シティグループ(本社:ニューヨーク)

- 多様な分野でワールドワイドに業務協働

モーリス・アンド・カンパニー(本社:ニューヨーク)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

トピックス

米国Fundstrat社と国内独占契約を締結 ～米国株式の情報提供サービスを拡充～

- リテールのお客様を対象とした米国株式の情報提供サービスにおいて、米国Fundstrat(ファンドストラット)社と国内独占契約を締結いたしました。

fundstrat

- Fundstrat社は、Institutional Investor誌によるアナリストランキングにおいて、2009年から13年まで5年連続で米国株式ストラテジスト部門TOP3にランクインしたトーマス・リー氏が率いる独立系調査会社です。

「川西支店」営業開始

- 9月5日より、川西支店の営業を開始いたしました。所在地は、阪急電鉄および能勢電鉄の川西能勢口駅より徒歩3分程度、JRの川西池田駅より徒歩7分程度の三井住友銀行川西ビルの5階です。同ビルには、三井住友銀行川西支店および川西ローンプラザが同時に移転オープンいたしました。
- 当社は中期経営計画の重点方針に掲げた、営業部門の「積極的な資源投入と銀証連携の強化による顧客基盤の拡大と収益力の維持の両立」のもと、新支店の開設計画を含めた営業インフラ整備への積極的な取り組みを推進しており、川西支店の営業開始により、国内店舗数は124ヶ店(本店1・支店123)となりました。

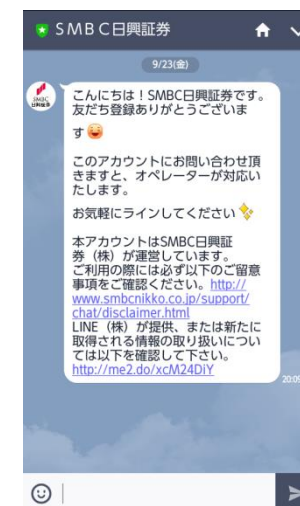
NTTドコモの「dポイントクラブ」と提携した特典を開始

- 9月1日より、株式会社NTTドコモが提供するdポイントクラブ会員の方を対象に、当社サービスの利用に応じて「dポイント」を進呈する3つの特典を開始いたしました。

- 1.無料月刊メールマガジン「お金のバイエル♪」購読特典
- 2.スマートフォンアプリ「SMBC日興証券アプリ」ダウンロード特典
- 3.投資信託の定期買付サービス「投信つみたてプラン」お取引特典

LINEによるお客様サポートの開始

- 9月26日より、LINEによるお客様サポートを開始いたしました。これにより、LINEを通じて、口座開設方法や各種商品・サービスなどに関するお問い合わせをいただくことが可能になりました。



参考資料

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



四半期損益推移 (連結)

(単位: 百万円)	16年3月期				17年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	95,827	79,319	79,570	64,074	81,013	82,070
受入手数料	46,160	46,153	44,403	29,787	35,335	42,582
委託手数料	11,435	10,297	9,602	7,859	7,390	6,753
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	8,962	10,799	10,001	4,237	7,518	12,182
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	12,223	11,023	10,490	4,692	7,529	9,192
その他の受入手数料	13,539	14,032	14,309	12,996	12,898	14,452
トレーディング損益	40,067	22,079	25,813	23,263	36,757	27,294
株券等	3,684	104	3,877	2,611	4,313	161
債券等・その他	36,382	21,974	21,936	20,651	32,444	27,132
金融収益	7,120	7,914	6,549	7,607	5,385	8,511
売上高	2,479	3,172	2,803	3,416	3,534	3,683
金融費用	5,241	3,303	4,520	3,604	4,653	4,101
売上原価	1,938	2,306	2,174	2,801	2,674	2,547
純営業収益	88,647	73,708	72,875	57,667	73,685	75,422
販売費・一般管理費	64,095	60,298	59,878	57,276	58,814	60,720
営業利益	24,552	13,410	12,996	390	14,870	14,701
経常利益	25,478	15,076	13,456	1,816	15,750	15,750
特別損益	6,246	-2,506	-18	-253	-497	298
税金等調整前当期純利益	31,724	12,569	13,438	1,563	15,252	16,049
法人税、住民税及び事業税	708	6,464	5,878	398	585	5,272
法人税等調整額	9,418	-1,808	-3,089	-804	3,913	-512
当期純利益	21,597	7,912	10,648	1,969	10,753	11,289
親会社株主に帰属する当期純利益	21,593	7,904	10,639	1,969	10,750	11,281

四半期損益推移 (SMBC日興証券)

(単位:百万円)	16年3月期				17年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	90,922	73,941	74,431	58,633	75,119	75,977
受入手数料	44,041	44,169	42,256	27,913	33,132	40,334
委託手数料	10,636	9,516	8,854	7,191	6,679	6,081
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	8,962	10,799	10,001	4,237	7,518	12,182
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	12,037	10,982	10,489	4,665	7,459	9,178
その他の受入手数料	12,405	12,870	12,911	11,818	11,475	12,892
トレーディング損益	40,067	22,079	25,813	23,263	36,757	27,294
株券等	3,684	104	3,877	2,611	4,313	161
債券等・その他	36,382	21,974	21,935	20,651	32,444	27,132
金融収益	6,813	7,693	6,361	7,456	5,228	8,349
金融費用	4,962	3,111	4,360	3,483	4,535	3,987
純営業収益	85,959	70,830	70,070	55,149	70,584	71,990
販売費・一般管理費	62,816	58,885	58,269	55,057	57,762	59,099
営業利益	23,143	11,945	11,801	91	12,821	12,890
経常利益	23,390	12,507	11,804	611	13,097	13,402
特別損益	4,611	-4,588	-15	-243	-500	302
税引前当期純利益	28,001	7,919	11,788	367	12,596	13,704
法人税、住民税及び事業税	561	5,932	5,518	-2,086	421	4,957
法人税等調整額	8,548	-3,201	-1,703	1,390	3,466	-723
当期純利益	18,892	5,187	7,973	1,064	8,709	9,470

◇主要商品販売額

(単位:億円)	16年3月期				17年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
投資信託	7,884	6,542	7,394	4,972	5,619	5,832
(株式投資信託)	(5,316)	(4,367)	(4,534)	(2,984)	(3,928)	(4,713)
(外国籍投資信託)	(1,267)	(929)	(1,128)	(639)	(684)	(805)
外債(*)	8,175	5,888	6,879	6,216	6,570	6,388
(外貨建て債券)	(2,367)	(1,935)	(2,763)	(2,005)	(2,140)	(2,198)
国内債	7,463	9,476	7,409	4,919	10,218	13,578
(個人向け国債)	(1,297)	(1,517)	(1,153)	(1,437)	(1,320)	(1,844)
株式募集	1,213	941	1,864	374	511	1,175
年金・保険商品	191	189	180	162	100	43
主要商品販売額合計	24,925	23,037	23,726	16,644	23,017	27,017

(*)外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

◇マーケットシェア

	16年3月期				17年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株券引受 グローバル株式 (*1)	12.5%	13.7%	14.0%	13.2%	19.9%	19.3%
債券引受 円債総合 (*2)	15.9%	16.8%	16.9%	15.7%	20.4%	18.2%
M&A 日本企業関連 (*3)	18.0%	17.4%	28.4%	24.8%	6.7%	14.7%

(*1) グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー

(*2) 円債総合・主幹事

(*3) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア)

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERS

◇ダイレクトチャネル比率(*1)

	16年3月期				17年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
約定件数ベース	90.0%	91.5%	85.8%	93.2%	92.9%	92.4%
(日興イーजीトレード)	(83.8%)	(85.9%)	(81.1%)	(88.5%)	(89.0%)	(88.8%)
手数料ベース	43.0%	44.4%	36.0%	47.4%	38.0%	28.3%
(日興イーजीトレード)	(27.8%)	(29.5%)	(23.8%)	(32.0%)	(26.2%)	(19.8%)

(*1) SMBC日興証券における個人のお客様からの株式・CB取引(委託売買、募集)に占める対面以外の比率。

◇売買代金・手数料率(*2)

(単位:億円)	16年3月期				17年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株式委託売買代金	64,128	62,855	59,236	63,264	61,785	62,264
株式委託手数料(*3)	107	89	87	70	66	63
単純平均委託手数料率	15.3bp	12.4bp	13.3bp	9.7bp	9.4bp	8.9bp

(*2) 株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(*3) 連結ベース

営業指標-3

◇口座数

【SMBC日興証券単体】

(単位:千口座)	16年3月期				17年3月期	
	15/6	15/9	15/12	16/3	16/6	16/9
	総口座数	2,629	2,666	2,712	2,731	2,739
証券総合口座数	2,294	2,332	2,372	2,396	2,405	2,426
新規登録口座数	42	55	59	37	33	39

◇店舗数

【SMBC日興証券単体】

	16年3月期				17年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	国内店舗数	123	123	123	123	123

◇人員数

	16年3月期				17年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	人員数	10,022	9,936	9,829	9,685	10,352
海外4拠点人員数	378	396	413	427	443	457

- 海外4拠点人員数は、下記の合計人員数
 - ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の人員数
 - ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る人員数及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社の人員数

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券